

府省名	防衛省	部署名	陸上自衛隊施設学校
取組のポイント			
<p>女性自衛官・職員の活躍推進のため、女性自衛官・職員との意見交換を実施し、改善方を検討。具体的な取組としては、女性自衛官・職員のキャリアパスの具体化、女性隊員ワークスタイル事例集の作成、早出遅出勤務やフレックスタイム制の活用促進、各種休暇の取得促進、業務予定の見える化等による業務効率化、女性が働きやすい職場環境の整備（和式トイレを洋式トイレに改装等）などの取組を実施。これらの取組の結果、フレックスタイム制の活用者数は前年度比約8倍（R2年度）、残業者は前年同時期と比較して約13%減少（R2年度）。</p>			
取組概要			
<p>【取組の背景】</p>			
<p>施設学校は5つの部・室等があり、約800人の職員により編成されており、年間約1,000名の学生に教育を行っている。教育部や学校運営を主体とする企画室の残業が常態化しており、また、女性自衛官・職員の増加により隊舎等の施設が狭隘し、生活環境基盤の整備が必須であった。</p>			
<p>【取組の内容】</p>			
<p>○女性活躍のための取組</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・各階級・職種・年齢層の女性代表者による女性活躍の施策検討の意見交換を実施。集まった意見を「カエル会議」で話し合い、女性の活躍推進及び環境改善に向けた改善策を検討。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・「女性隊員ワークスタイル事例集2020」の作成。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・早出遅出勤務、フレックスタイム制、各種休暇等、制度活用の促進。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・和式トイレを洋式に改装等、女性が勤務しやすい生活環境基盤整備を実施。 			
<p>○働き方改革</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校長以下、各人の業務予定を共有・見える化するとともに、各施設・教場等の予約状況を共有、電話確認等の時間を削減。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・室・部・隊等ごとに職員の残業時間を把握し、結果に基づき管理者が指導等を実施。状況により任務負担の軽減処置を実施した。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校長等がWLBの重要性に関するメッセージを発信し、改革意識の向上を図った。 			
<p>○心身の健康</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の休み期間等にキッズウィークを設定し、親子の関わりを深める機会を与えつつ休暇取得を促進した。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日を「ゆう活」とし、2時間の年次休暇の取得を推奨。個人の時間の充実を図った。 			
<p>【取組の成果】</p>			
<p>WLBに対する意識が高まり、前年度に比べフレックスタイム制の活用者数約8倍、残業者数は約13%減少した。また、キッズウィークの設定など休暇を取得しやすい環境を構築したことにより、健康・休養・家庭生活等の仕事以外の生活の充実につなげることができた。</p>			
			
【女性代表者会議】	【ワークスタイル事例集】	【指揮官メッセージ】	
講評			
<p>業務予定の見える化、カエル会議等基本的な取組であるが、様々な施策を積極的に実践しており評価できる。残業者数の減少など成果も上がってきている。今後も組織として継続的に支援することでワークライフバランス意識が定着することを期待したい。</p>			